

株式会社お茶の富澤。

担い手確保 サービス

熊本県上益城郡益城町

肥後茶の栽培、製茶、販売・サービスまで一貫提供する「茶を以て和を成す」お茶屋

肥後茶の生産から販売までを手掛ける創業90年の老舗茶屋。発酵肥料主体の土作り、遮光幕を直接木にかぶせる栽培方法で高品質の茶葉（かぶせ茶）を育て自前の工場で蒸し、葉打ち、揉み、乾燥など自社で一貫製造したお茶を中心に販売。またお茶のドレッシング開発や日本文化であるお茶の魅力を発信する日本茶専門店Greentea.Labを開設し、時代とニーズの変化に対応しながら新しい形での飲み方、楽しみ方を提案。

●所在地	熊本県上益城郡益城町小谷102	●設立	2018年
●電話/FAX	096-286-2231/096-286-5941	●資本金	200万円
●URL	https://www.ochanotomizawa.co.jp/	●従業員数	10人
●代表者	代表取締役 富澤 堅仁		



担い手確保

事業承継に伴う法人設立後に「経営の見える化」の取組

現社長は国立茶業研究所の研修制度に参加しお茶作りの基礎を学んだ後に茶所で有名な静岡県、福岡県八女市で合計4年間お茶作り修業を経験、平成29年に日本茶インストラクターの資格取得。その後父の病のため、事業承継とともに売上拡大など経営基盤強化をよらず支援拠点と相談。法人化により経営を客観的に判断できるよう事業内容の「見える化」に取り組む。平成30年1月に「株式会社お茶の富澤。」を設立、4代目を踏襲し代表取締役に就任。



未来会計を導入し経営数字を「見える化」

ロゴデザイン、経営理念「茶を以て和を成す。」を決定

マーケティング、自社ブランディングの徹底に加えて、「色々な物が便利に簡単な世の中で、手間暇をかけ美しい物は何なのか考えた時、お茶の富澤。のこだわりがある」そして「人と人、物と想いの間にお茶があり、それぞれを結び、寄り添う存在が私達が考えるお茶である」その想いを込めて作成したロゴデザインが、経営理念である『茶を以て和を成す。』や、事業理念『時代に応じたお茶作りに挑戦し続ける』を体現。広く外部に発信することで共感を得ている。



「。」には一旦止まりゆっくりという願い

経営理念、事業理念に基づいた地域への貢献

熊本地震により店舗が全壊したが、日本茶専門店「Greentea.Lab」を新規開店。地場のお米を使ったおむすびや若手農業後継者と連携し地場野菜を販売することで雇用拡大、地場農産物の販路拡大に寄与。また地震により離農した茶農家から茶畑を引き継いで「熊本玉露Hajimari」「熊本抹茶Ippo」の新規製造を開始。さらに葬儀社と関係事業者による「グランドゼロ益城老舗二代目社長グループ」で新規受注や雇用拡大に繋げる復旧事業計画を作成し、研修会・自主勉強会、イベントなど実施。



若手農業後継者が育てた地元の野菜を販売

サービス